



日時	タイトル名	場所・座席	料金	チケット 発売場所	未就 学児
3/12 (土)	開演 14:00 (開場 13:30) 奈良フィルサロンコンサート vol.137 音楽の土曜日～リクエストにお応えします～	レセプションホール 全席自由	2,000円 (ワンドリンク付)	発売中 ☎ ☐ e+	×
出演：織田 寛子 (ピアノ)、松下 伸也 (バリトン) 恋人のもとへ行く道 愛の歌					
3/13 (日)	開演 14:00 (開場 13:30) ～心温まるトークと映像を交えた～ 池宮正信ピアノコンサート クラシックとラグタイム「メインの海」	小ホール 全席指定	一般 3,000円 (当日 3,500円)	発売中 ☎ ☐ e+	×
出演：池宮正信ほか ①クラシック～ショパン「ノクターン」ほか、②ラグタイム～スコット・ジョプリン「イージーウィナー」ほか、③映像とピアノ～「メインの海」。					
3/18 (金)	開演 19:00 (開場 18:30) 金曜トークサロン vol.24 ～会いたい・知りたい・つながりたい～ ～愛と夢とトスティと～	レセプションホール 全席自由	1,000円	発売中 ☎	×
ゲスト：山口佳恵子さん (声楽家・関西二期会会員・イタリアトスティ協会名誉会員・奈良市国際音楽交流協議会副会長) 聞き手：松本真理子 (マリンパ奏者・市音楽芸術協会会長・やまと郡山城ホールアドバイザー)					
5/15 (日)	開演 11:30 (開場 11:00) 京フィル・親と子の管弦楽コンサート 「だがっきであそぼう」 ～うたって!おどって!楽しいね! 15周年～	大ホール 全席指定	おとな 2,000円 子ども 1,000円 (2歳～小学生) ※2歳未満はひざ上 での鑑賞無料	3/13(日)10:00～発売 ☎ ☐ e+ ※メイト先行 3/10(木)10:00～ (電話は共に13:00～)	○
子どもたちに生の楽器から紡ぎ出される本物の音楽に触れていただき、心ゆたかに育てて欲しいと願い企画した演奏会。ただ聴くだけでなく、一緒に歌ったり、合奏したりとコンサートに参加できるような工夫を凝らした盛りだくさんの内容で毎年好評をいただき今回でなんと15周年!今年のテーマは打楽器です。打楽器奏者のこっしーおにいさんが大活躍します。出演：京都フィルハーモニー室内合奏団、西村かおり (うた・おはなし)					

※チケット欄の記号=発売場所 ☎:やまと郡山城ホール窓口 ☐:チケットぴあ ☒:ローソンチケット e+:イープラス

募集 やまと郡山城ホールサポーター募集

日頃から文化・芸術に関心のあるみなさん!城ホールの公演をボランティアとしてお手伝いしていただけますか?

活動内容はチケットのもぎり、観客の誘導・案内、その他

募集人数=20人

対象=18歳以上(高校生除く)の文化芸術に関心のある人で、月1回以上、主催事業のある日に活動できる人

申込・問合せ=3月12日(土)9時から(休館日除く)、所定の応募用紙に必要事項を記入して、やまと郡山城ホール事務局(☎54-8000)へ持参(先着順、定員になり次第締切)。



市長てくてく城下町 132

大仏グラブに思いを乗せて 大和市長 上田 清

想像をはるかに超える津波の威力を見せつけた東日本大震災から早くも5年の月日が流れようとしています。

本市では、被災地に対する市民の方々の思いを届けるとともに、東松島市への職員の派遣を始めさまざまな支援活動に取り組んできました。

一方、市内でスポーツ店を営むひさんは震災の直後から、津波でグラブを流された野球少年のために、全国各地から中古グラブを集め、みんなで磨いて現地に送る活動を重ねてこられました。

そうしたなか、福島県いわき市の中学校野球部の先生方から、震災5年目を迎えるにあたり未来に向け心がひとつになるシンボルを創りたい、というメッセージが届いたのだそうです。

これを受け、奈良県といえば東大寺があるから、大仏様が使うサイズのグラブを東北の子どもたちとも力をあわせて製作し、絆を深めようとい

う大プロジェクトがスタートしました。

大きさは何と3.6m。昨年夏には東北の各地で縫い合わせが始まり、8月末には東大寺で行われた仕上げの作業に、県内の子どもたちと私も参加させていただきました。ひと針がたなご縁です。

こうして数え切れない方々の思いがこもる大仏グラブは完成し、平成27年12月26日まさに大仏様の前で奉納の式典が行われました。

この大仏グラブはお正月を大仏殿で過ごした後、やまと郡山城ホールの入り口正面に飾られていますので、是非一度ご覧ください。

3月上旬にグラブは再び移動し、震災5年目の3月11日にいわき市でお披露目される予定で、私も現地へ行かせていただく予定です。

いわき市のいわき高校とは、郡山高校が甲子園で闘ったというご縁もあります。新たなつながりが生まれることを大いに期待したいと思います。

